

「一年の計は元旦にあり」とそれぞれの人は、それぞれいろいろな目標を立てます。そして、その目標に一步でも近づき、また成し遂げようと努力します。人は何か目標をもたないと平凡な毎日の繰り返しになってしまいます。さて、あなたはどんな目標を抱いたでしょうか。

篠本 行方 宏臣 会社員

- ①貯金：家を建てる資金として、毎月十萬円の積立金。
- ②家庭：是非、日帰りの家族旅行
- ③車：四台目の車を購入。

二又 川島 幸枝 学生

- ①入試の征服：私にとって人生の第一関門である。新年、一番の念願は高校入試の壁を突破すること
- ②交際：新しい社会生活が始まるうとしている昭和五十年は、広範囲にわたる交際がしたい。
- ③家庭：毎日、忙しく働いている家族の人たちの休養のためにもレクリエーションとして家族旅行。

橋場 鈴木 つね 主婦

- ①健康：主人は朝のマラソンを日課として、三年余り続けている。初めは二キロメートルであったけれど、今は四キロメートル。今年もまた頑張るであろう。私たちにあって健康こそ第一。
- ②旅行：芭蕉と曾良をしのびながら、「奥の細道」のコースを旅。
- ③俳句、短歌、吟詠会：月一回の俳句、短歌会。月二回の吟詠会に参加し、一日一日を大切にす。

入 大木 三郎 農業

- ①仕事計画：私も学校を卒業して早くも三年。いつまでも気楽な考えで、毎日を通り過ぎて行くわけには行かない。農家の後継者となつた以上、その責任が果たせるよう準備が大切。その一つに、インフレにも負けない経済的安定の保てる仕事計画が必要。
- ②家庭内の和：このことを頭におき、前進するよう努力する。

西高野 馬場 貞子 主婦

- ①買い物上手：時節がら安くて良い品物を、そして無駄な物を買わないようにする。
- ②仕事：自分の仕事をもっと充実させ、仕事に徹する。

③スポーツ：学生時代にやっていたテニスを、もう一度、休日を利用して親してみたい。

小川台 村越 幸江 農協職員

- ①結婚↓家庭：一月一日、新しいスタートと共に、「また一つ年を取ってしまう」と言う言葉を良く耳にする。まだ若い今の私には、もちろん夢があり希望がある。結婚そして家庭へと夢は多い。二十一才の誕生日から〇カ月？。正直言つてあと三カ月余りで二十二才学生時代に友とおしゃべりした日々を振り返ってみればなつかしい思い出。二十一才で結婚し、そして二十二才で赤ちゃんなどと、楽しく笑い、語り合いながら過ごしていた頃を思い出す。その頃の話

しで行けば、私は今頃、こうしてはいなかったはずだったので、どういうわけかまだ未婚。でも、もう本当に年頃？。やはり友達との結婚に招待されれば影響されるのは当然のことと思う。今年こそはと思うが、神様はどう考え、どう導いてくれるのかしら...

辻 山下 のぶ子 公務員

- ①立派な母親と子供の育成：現在九カ月のお腹の子が、昭和五十年には世に生まれ出る年ですので、立派な母親となり、一人前の子供を育てること。
- ②旅行：結婚一周年記念の旅行が実行出来なかったため、今年是非実現させたい。また、両親にも計画し、仕事の余暇に行つて頂く

# 私の三つの夢



## 私の夢は結婚？

カット ヤヨイ

ようにしたいと思えます。

橋場 新井 注聖 会社員

- ①耐乏から発展の芽を：今年は大変な年になりそうである。日本経済が過去において、一度も経験したことがない事態がやってくるからだ。超インフレは、ますます猛威をふるい、悪性化していく傾向にある。我が家の家計も緊縮するためには、その目的と理由を明確にした上、六人の家族の同意と自覚が何よりも大切であるから、従来までの実体と資料を家族会議で検討し、子供、大人に関する物を区別し、各自の分担について徹底して守る。
- ②人づき合いを積極的に：光町に引越して来て、満二年になろうとしているのに、いまだに数人の方々とおつき合いをしていない。今年には特に、地域社会の一員として、より積極的に取り組む。
- ③体力づくり：「健全な精神は健全な肉体に宿る」と言う古賢のおしえは、今日まで全く正しいとされているが、私は今まで体力だけには自信があったのであるが、昨年は少なからず、その自信なるものが、いかに根拠のないものであったかに気づいたので、日頃の体力づくりに励む。

篠原 鶴沢 洋子 主婦

- ①子供の養育：子供たちの教育で一番大切な親としての責任。長男は四才、長女が五カ月。「三つ子